

令和7年10月27日

調査研修報告書（議員用）

報告者：木山 義仁

実施場所： ・リファレンス西新宿（東京都新宿区）	実施日： 令和7年10月6日（月）
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） 【新人議員研修】 ○ 今後の一般質問にあたり、成果を出す（課題解決に向けた政策の実現）ための質問の、策定方法等について学習することを目的とした。	
■参考とすべき事項 【新人議員研修】 ○ 議員が本来的に行うべきことは、地域の課題を行政の力（制度・事業）によって解決すること。そのために、市民とのコミュニケーションによる問題（現実とあるべき姿）の発見から始めることが必要。 ○ 既存の制度の修正・改善を要求・提案するためには、制度の内容を根本から知ることが必要であり、既存の制度では課題を解決できていないことを示すことが必要。 ○ 一般質問を通じて執行部と一緒に、政策・施策を策定してことが必要。 ○ 一度の一般質問で政策が実現することはない。したがって、いかに執行部を「少しずつ動かすか」がポイントとなる。 ○ 一般質問で執行部が動かない場合でも、市民への情報提供という手段の一つであり、市民の意思醸成につながる。	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） 【新人議員研修】 ○ 本市の「課題」を見つけることが始める。「課題」は、市民や市内の団体等との徹底した対話を行うことにより、役所が見逃しがちな市民の声を集める。 ○ 一般質問にあたっては、個人の主観ではなく、事実や根拠・理論（エビデンス）に基づき意見を構築することを徹底する。 ○ 一般質問を通じて、市民に本市の問題と課題を伝え、議員として意思を表明する。	